

大施餓鬼会について

お せ が き え
大施餓鬼会とは、「餓鬼」への供養を通じて私たちのご先祖さまの供養を行う法要で、当山では「お盆」の法要として毎年8月5日に行っております。法要に合わせ、皆さまには是非塔婆をあげてお供養ください。また、当日はぜひご参列を賜り、一緒にお手を合わせてくださいますようご案内申し上げます。

● 塔婆のお申込みについて

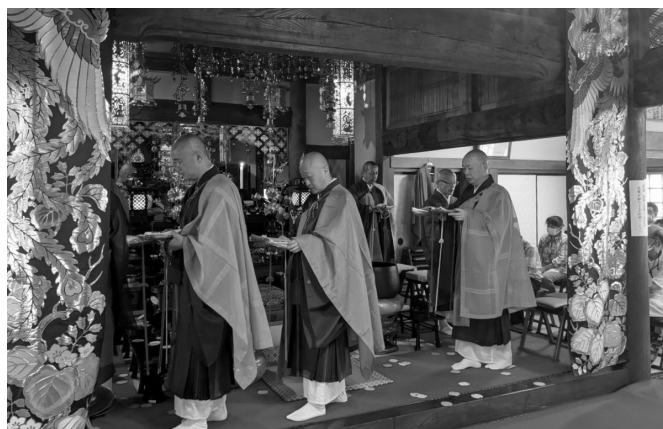
塔婆申込書を同封いたしておりますので、供養するご先祖様の戒名と、施主（供養をしようとされる方のお名前）をご明記の上、当山まで郵送・ご持参またはFAX等でお申込みください。

● 供養料・塔婆代等のご納金について

当山では、毎年大施餓鬼会のお申込みの時期に、盆供養料のお納めをお願いいたしております。盆供養料は檀家さん1軒あたり8,000円で、墓地の有無・塔婆申込の有無にかかわらずお納めくださいますようお願い申し上げます。

また、新盆にあたる方は新盆志納金（1万円以上）を御奉納ください。

盆供養料・新盆志納金（新盆の方のみ）・施餓鬼塔婆代（1本3,500円）の合計を、当山までお納めください。なお、なるべく銀行振込等をご利用くださいますようお願いいたします。



大施餓鬼会法要の様子



大施餓鬼会法要の様子

※送金者名義は檀家名をお願いいたします（まれにご自身のご名義を「エンコクジ」とされる方がいらっしゃいますので、お間違えの無いようによくご確認ください）

※小坂山霊園の方の管理費は、別途専用の口座へお願いいたします

※本年はゆうちょ銀行の振込用紙を同封いたしておりますので、どうぞご利用ください

- * J A横浜 新田支店 普通 2655599
口座名義 シウ)エンコジ ダ化ヨヤケインフクジユリヨカン
- * 横浜銀行 綱島支店 普通 0210719
口座名義 シウ)エンコジ ダ化ヨヤケインフクジユリヨカン
- * 川崎信用金庫 吉田橋支店 普通 0195891
口座名義 シウ)エンコジ ダ化ヨヤケインフクジユリヨカン
- * 横浜信用金庫 高田支店 普通 0175168
口座名義 シウ)エンコジ ダ化ヨヤケインフクジユリヨカン

● 塔婆の受け取りについて

施餓鬼当日にご参加されなかった方の塔婆は、翌日以降お盆までに、各墓地に順次建立してまいります。直接墓地へお参りください。

なお、貝塚霊園・小坂山霊園など当山境外墓地の方につきましては、恐れ入りますが当山までお受け取りにおいでくださいますようお願いいたします（難しい場合にはご相談ください）。

施餓鬼とお盆

お盆とは、正しくは盂蘭盆（うらぼん）といいます。かつて、インドの僧侶たちは夏の雨季の間、山に籠って修行をしました。これを夏安居（げあんご）といいます。この夏安居の最終日（七月十五日）に、僧侶たちは各々自分の犯してしまった罪を指摘しあい、悔い改めて自身の心身を清らかにしました。このとき、信者の人たちは夏安居が終了した僧侶に、先祖の供養を願って器に盛った食事を差し上げたといいます。

『盂蘭盆経』というお経にはお釈迦さまの弟子の目連が、餓鬼道へ落ちてしまった目連の母親の供養をするために、お釈迦さまの教えに従い夏安居が終了した大勢の僧侶たちに食事を差し上げ、母親の供養をしたと記されています。

このことから、七月十五日に各々の家々で精霊棚（しょうりょうだな）を設け、僧侶に先祖の供養をしてもらうようになったといわれています。自宅に精霊棚を設けて位牌を安置し、さまざまな食べ物などを供え、そこに白い盆提灯を携えたご親族の方々が集まり、故人を偲びました。

当山では月遅れのお盆の行事として、『盂蘭盆経』にならい、毎年八月五日に近隣有縁の寺院より多数の僧侶をお迎えして、施餓鬼会（せがきえ）という法要を行ってきました。この法要は大変功德のある法要であるとされており、檀信徒の皆さまにはこの施餓鬼会に合わせて、ご先祖の塔婆を建立いただき、先祖の供養を行っていただきます。また、新盆を迎えられた方の位牌を施餓鬼壇に安置し供養いたします。檀信徒の皆さまにおかれましては、この機会に是非ご親族の方々とともに、亡くなられた方の塔婆供養をしていただければと思います。



昨年の施餓鬼壇の様子



施餓鬼壇のイメージ

塔婆について

塔婆^{とうば}とは、卒塔婆^{そとば}ともいいますが、かつてはお釈迦さまの入滅後、各地に石塔を建てて供養したことが由来となり、時代とともに様々な形に変化しました。現在の木製の塔婆にある上部の切り込みは、石塔の形を模して作られたものです。

塔婆は、「そのとき（今回は施餓鬼会）に供養を行った」しるしとしてお作りし、墓地に建立するものです。どなたからあげていただいてもかまいません。「塔婆を建てて供養したい」という気持ちのある方に建てていただくと、よいお供養になります。

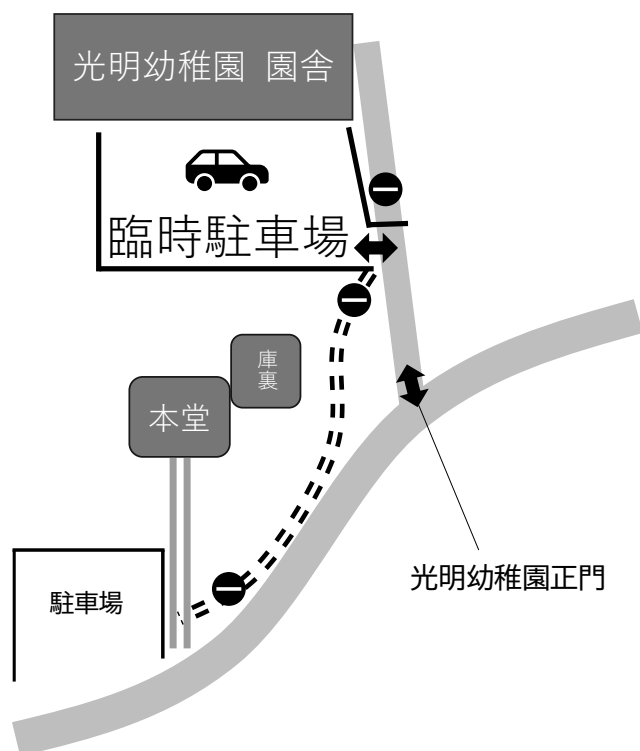
また、普段のご法事と施餓鬼会の違いは、「名前のわからない、戒名があるかもわからないご先祖さまや有縁無縁の方の供養ができること」です。本来、「適切に供養してもらえず、成仏できなかったかもしれない方」へ施しをするのが「施餓鬼」ですので、顔やお名前のわかるご家族ご先祖さまの塔婆に加えて、「先祖代々」の塔婆をお上げいただけましたら嬉しく思います。

当日ご参加の方へ

施餓鬼会当日（8月5日）は多くの方がおいでになりますので、駐車場が大変混みあいます。隣接の光明幼稚園の園庭を臨時駐車場として開放いたしますので、**施餓鬼会においでになる皆さまは、できるだけ臨時駐車場をご利用ください。**当日、光明幼稚園では預かり保育が行われております。お車の出入りにはくれぐれもご注意ください。また、幼稚園への出入りは正門側のみの開放となりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

近年はこの時期暑い日が続きます。猛暑対策の一環として法要時刻を変更いたしましたが、それでも暑さが見込まれます。新盆の方も含めまして、正装でいらっしゃる必要はありません。どうぞ涼しい服装でお越しください。

臨時駐車場のご案内



- 8月5日は、隣接する光明幼稚園の園庭を、臨時駐車場として開放します。
- 門前の駐車場は、駐車区画が少ないため、譲り合ってください。
施餓鬼会にご参加の方は、できるだけ臨時駐車場をご利用ください。
- 臨時駐車場は正門からの出入りをお願いしています。トラブルの防止のため、ご協力をお願いいたします。
- 園児や歩行者にご注意ください。

「塔婆申込書」について

お書き間違いのないよう、特にお名前・お戒名などよくご確認いただきご記入ください。

この申込書は、施餓鬼法要の際にご本尊さまの前でお加持させていただくために使用いたしますので、できるだけご自筆にて、丁寧にお書き入れください。

令和8年大施餓鬼会 塔婆申込書			
申込み代表者			
氏名	塩谷 太郎	電話番号	045-592-2406
ご住所	〒223-0066 横浜市港北区高田西 4-34-35		
塔婆申込み内容			
1	戒名 ○○院○○○○信士	施主 塩谷太郎、塩谷次郎、塩谷花子	①申込み代表者記入欄 申込み代表者の方のお名前とご連絡先をご記入ください。 ②戒名（または先祖代々） 塔婆供養したい方の戒名をお間違いの無いようにご記入ください。戒名がご不明な場合は、当山までお尋ねください（原則として、俗名での申し込みはできません）。 ③施主 どなたからお塔婆をお上げいただくかをご記入ください。複数の方からお上げになる場合は、こちらに列記してください。連名でのお申し込みはできません。原則として、1人1本としてご用意いたします。 ※当山に墓地のない方の供養もできます 当山に墓地のない、遠戚の方やご友人等の供養も可能です。[墓地外] などご明記ください。戒名の無い方やご不明な場合には俗名で供養いたします。塔婆は永代供養墓にお立てします。 ※記入欄が足りない場合は 塔婆を6名以上の方にお上げになる場合は、裏面には記入せず、用紙を予めコピーしていただくか、別紙（コピー用紙、便箋等）をご用意ください。 ※戒名が印刷済みの方へ 永代施餓鬼の申し込みをされている方の塔婆は、用紙にすでに印刷されております。施主欄をご記入の上ご返送ください。 永代以外の塔婆申し込みがあれば、他の欄にご記入ください。 (永代施餓鬼の新規受付は終了しています。また、永代施餓鬼の中止を希望される方は、当山までご連絡ください)
2	戒名 ○○○○信女	施主 塩谷太郎、光明桜子	
3	戒名 塩谷家先祖代々	施主 塩谷太郎	
4	戒名	施主	
5	戒名	施主	
6	戒名 [墓地外] ○○○○	施主 塩谷太郎	
※記入欄が足りない場合は、恐れ入りますが別紙をご用意ください。 ※7月31日まで（必着）に、本用紙を郵送またはFAXにてお送りください。 〒223-0066 神奈川県横浜市港北区高田西 4-34-35 FAX: 050-5810-7806			
合計 本数		7	本

薬王山塩谷寺

この申込書は、塔婆の申込書であるとともに、供養の申込書でもあります。塔婆申込みにあたっては、できるだけ毎回手書きでご記入ください。ご自身の手で戒名を書き写すところから「供養」になります（ご自筆が難しい場合は構いません）。最近は郵便が混雑し日数がかかりますので、余裕をもってお送りくださいますようお願いいたします。

ご記入方法などにご不明な点がございましたら、お気軽に当山までご相談ください。（電話：045-592-2406 不在の場合はご容赦ねがいます）